

漁海況情報第9報 (2009年12月1日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0138

本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

亘理沖 142° E 以東(100m 深)で冷水の影響が見られます

本県沿岸海域(142° 30' E以西)の表面水温は14~16 台となり、平年より約2 高くなりました。また、沖合海域(142° 30' E以東)の表面水温は15~18 台となり、平年より概ね1~4 高くなりました。

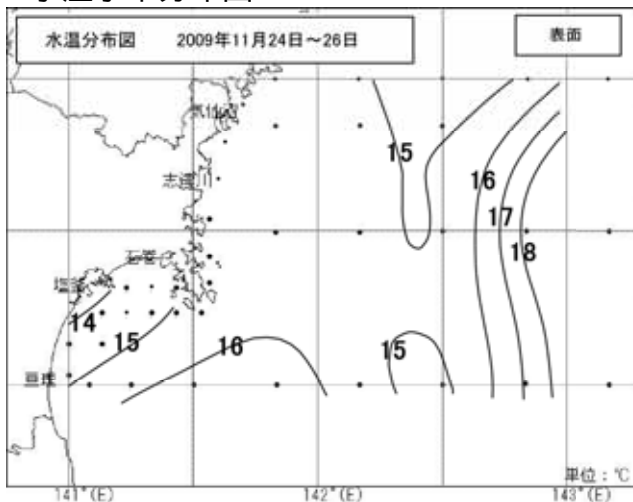
100m 深水温については、38° 30' N以北の海域では、12~15 台で平年並でした。38° 30' N以南の海域では、8~15 台で平年並~約-5 低く、特に142° ~142° 50' E、38° ~38° 15' Nにかけては平年より極めて低くなっています。[P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]

水温鉛直断面図をみると、気仙沼、雄勝、亘理沖合全てのラインについて、全般的に層を成していますが、水深100m 付近までの水温差は前月よりも小さくなりました。[P2.水温鉛直断面図]

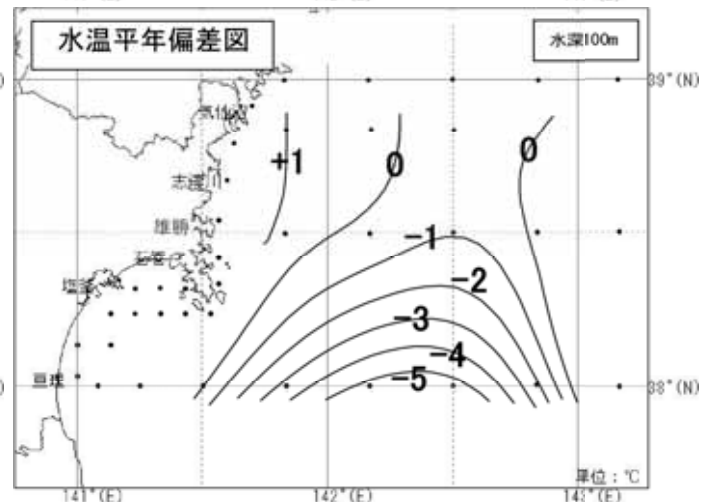
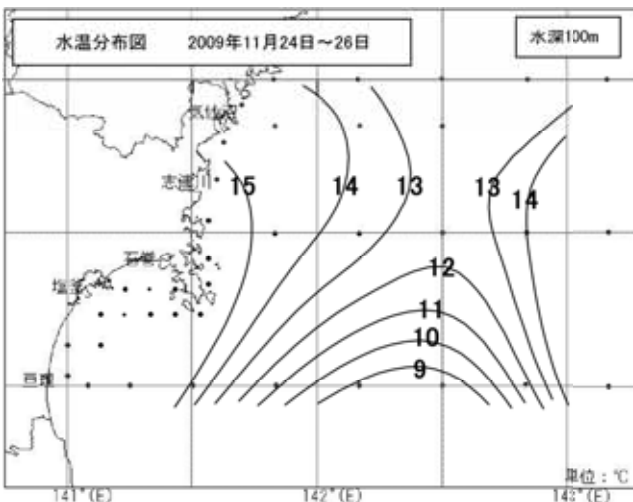
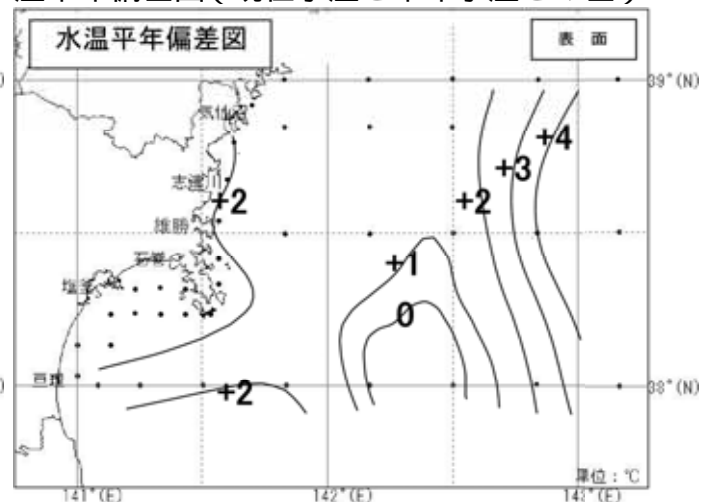
東北海域の表面水温の分布について、本県沿岸は16 台の水域に覆われており、沖合海域では暖水が張り出しています。[P2.東北海域の海況図：(社)漁業情報サービスセンター]

なお、11月下旬の定地水温は、歌津で平年よりやや低くなり、江島、田代島で平年並みでした。[P2.定地海洋観測結果]

・水温水平分布図



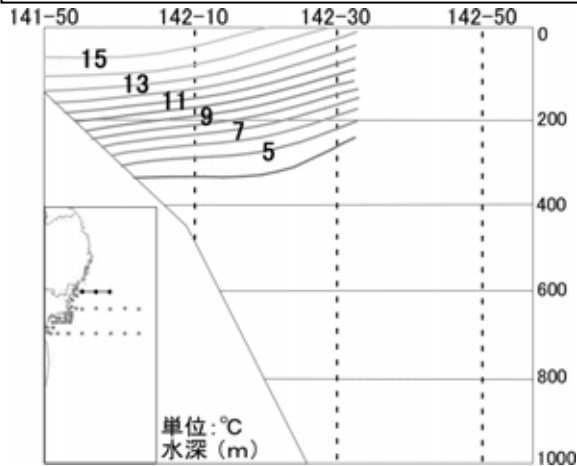
・水温平年偏差図(現在水温と平年水温との差)



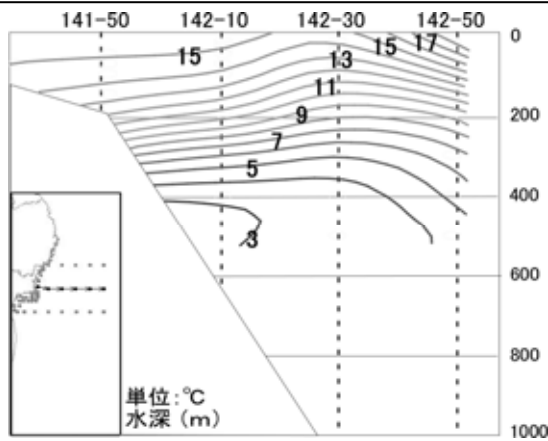
海洋観測は拓洋丸と開洋が実施しました。

・水温鉛直断面図

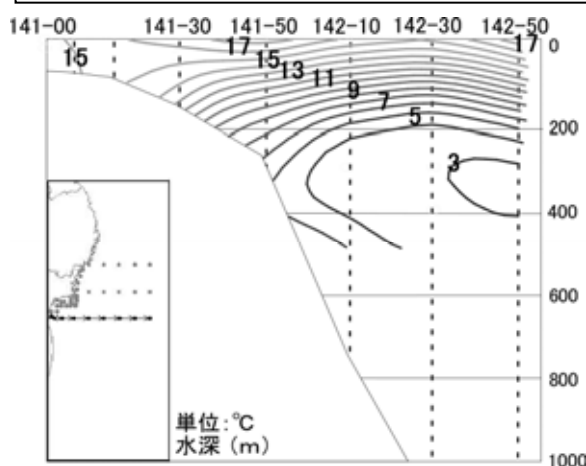
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



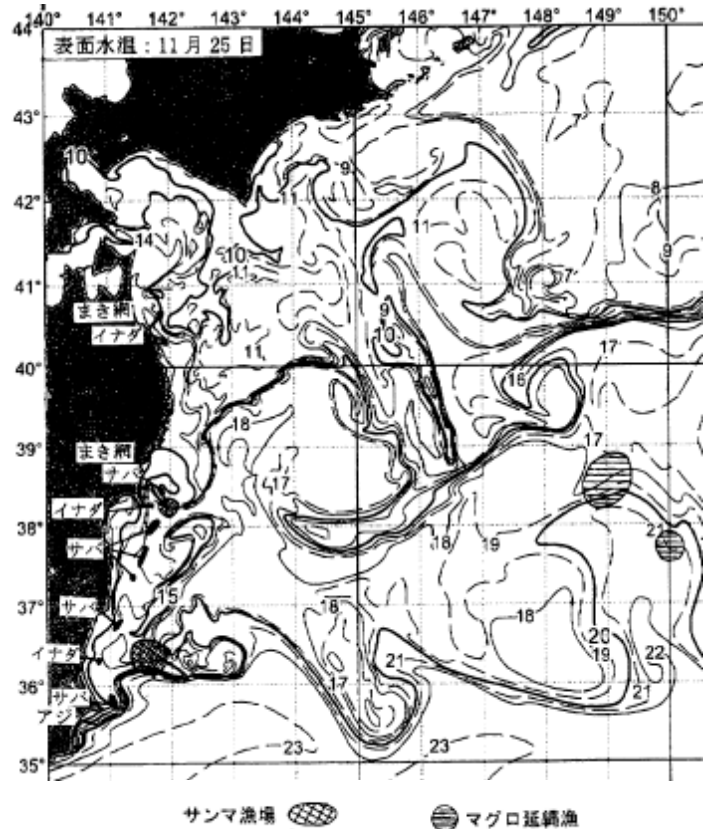
38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)



38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



・2009年11月25日の東北海道の海況(表面水温)
(社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (社) 漁業情報サービスセンター

- ・ 鹿島灘～金華山沿岸は13～17台。
- ・ 金華山以北の沿岸は9～17台。
- ・ 津軽暖流は14～15台。
- ・ 近海では、10の南端は40°N・146°E、15の南端は35°30'N・140°30'E、20の北端は37°10'N・142°20'E。
- ・ 東北近海の表面水温の前年比は、沿岸寄りでは並、沖合で低め。
- ・ 40～41°N・148～151°E(9～16)、大東崎～鹿島沖(16～21)等に潮境が分布。

・定地海洋観測結果()

	11月下旬(平年比)	平年差	前年差
歌津	13.6(やや低い)	-1.1	0.2
江島	14.8(平年並み)	0.1	0.7
田代島	14.1(平年並み)	0.1	-0.1

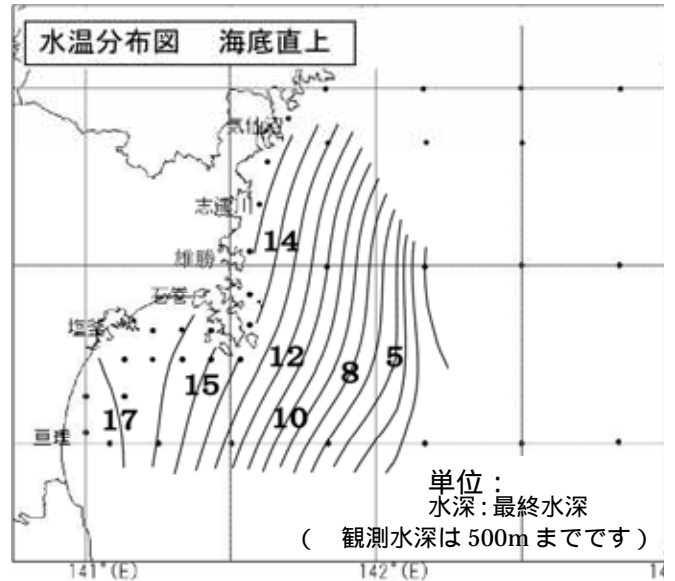
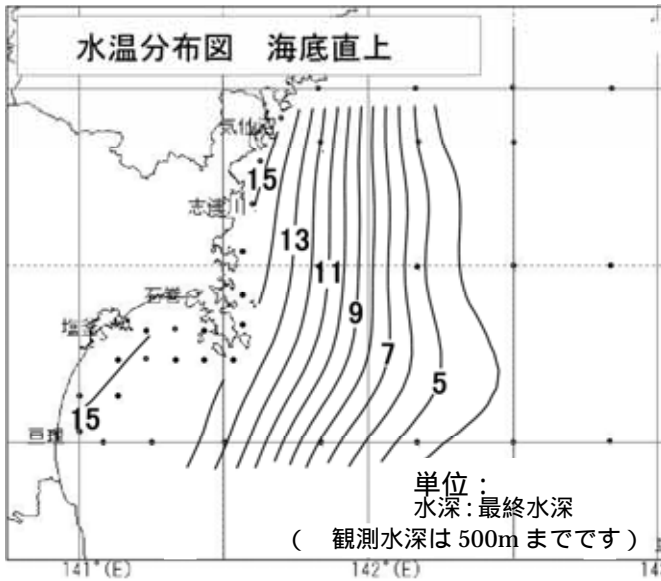
平年差は、江島、田代島：過去30年間、歌津：過去10年間との比較。

毎日の定地水温情報は当センターホームページでも見られます。

(<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>)

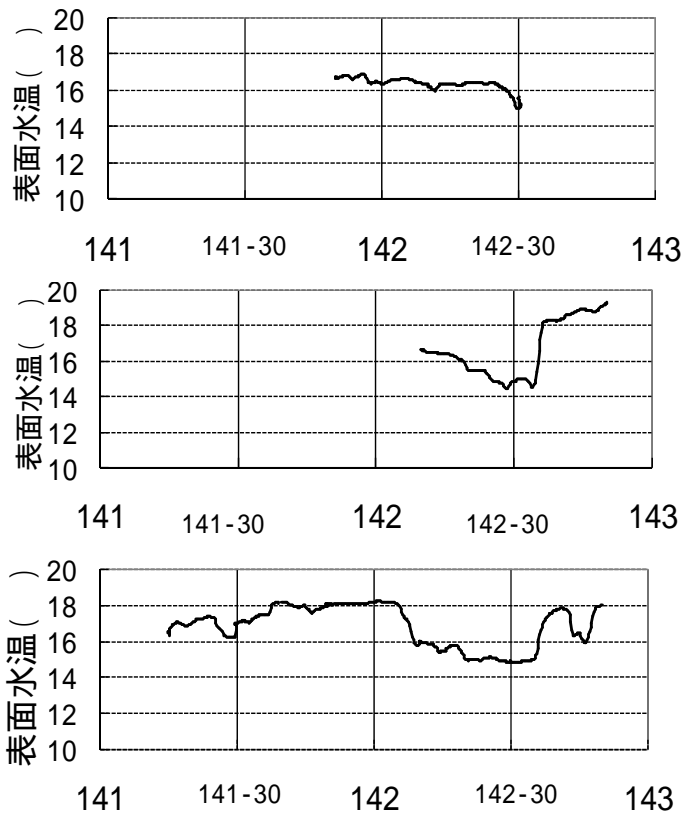
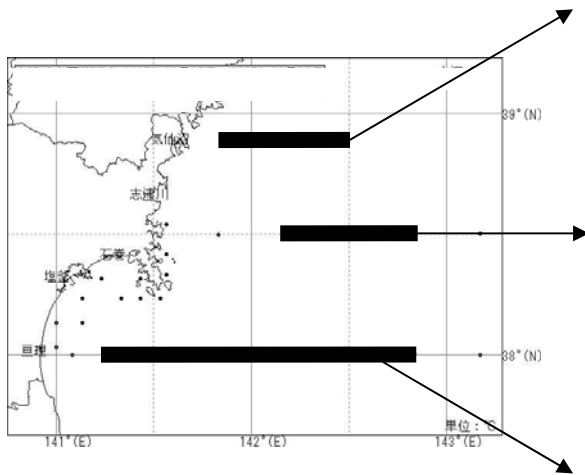
2. 底層水温図

・海底直上水温(2009年11月24日~26日) ・昨年同期の海底直上水温(2008年11月14日~19日)



3. 表層水温情報

拓洋丸に搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記のとおりです。



4. 漁況

主要魚種の県内10魚市場の水揚量。(集計期間:2009年11月1日~11月30日, 単位:t)

魚種	沖底	小底	沿岸イカ釣	延縄	棒受網	一本釣	まき網	定置網	刺網	大目流し網	その他	総計	前年比(%)
カツオ				0		211				11	1	223	183
クロマグロ				1				11		1	4	17	102
ピンナガ				496		113				5	4	618	195
メバチ				419						0	40	459	119
ブリ		2					570	139	7		8	726	538
マサバ	17	1					6,454	284	18		17	6,790	155
サンマ						21,658					16	21,674	73
カタクチイワシ		0						1,897			87	1,983	97
スルメイカ	3,444	4	189					50	0		25	3,712	229
マダラ	165	0						0	0		318	483	135
スケトウダラ	8	0						0	0		116	124	81
シロサケ	61	2						2,362	599		952	3,977	75

宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

5. 調査船運航計画

拓 洋 丸	
12 月 1 日	クラゲ目視調査
12 月 2 日 ~ 24 日	ドック検査
12 月 25 日	クラゲ目視調査

開 洋	
12 月 1 日	クラゲ目視調査
12 月 2 日 ~ 16 日	ドック検査
12 月 17 日	クラゲ目視調査

大型クラゲ出現情報

2009 年 11 月 30 日現在

11 月下旬までの県内における大型クラゲの出現状況は、引き続き定置網、小型底曳網や刺網への入網が確認されています。

全国の大型クラゲ分布量は、日本海側の一部で短期的な減少傾向も見られていますが、青森県から岩手県海域では依然として大量に来遊が確認されており、今後も本県沿岸にまで流入することが予想されますので、十分に注意して下さい。

なお、当センターでは本県沿岸での来遊状況の把握に努めていきますが、大型クラゲに関する情報がありましたら当センターまでお知らせ願います。

全国の大型クラゲ出現情報は当センターのホームページからご覧になれます。

(<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>)

大型クラゲ対策のための漁具改良マニュアルは(独)水産総合研究センターのホームページからご覧になれます。

(<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/>)

